

晴耕雨読

デイサービスケアスタ中町の広報誌

[Seiko-udoku]

2023年2月 vol. 48 CARE★STA



味噌づくり開始！



今年分の味噌づくりを始めています。今年で3年目になります。みなさん手慣れた感じで笑顔で参加しています。今年の仕上がりはどうでしょうか？楽しみです。



▼さくらあんぱん
懐かしい味で、しつとりとした食感です。ずっしりと詰まったあんこが美味しいです。



編み物が上手な利用者様にお願いして、椅子カバーを作つて頂きました。あつという間に4脚分ができました。



▼お料理プログラム

火曜日と土曜日はデイサービスで昼食を作つてしています。口内のために控えめにしていましたが、感染対策をして上で楽しみながら参加できるようにしています。



▼椅子カバー作成

創作プログラムでひな人形を作つています。シンプルに可愛くできました。

▼クラフトバンドでひな人形

晴耕雨読

デイサービスケアスタ中町の広報誌

[Seiko-udoku]

2023年2月 vol. 48



作業療法士監修

一軒家“まるごと”生活リハビリ型デイサービス



生活リハビリとは？

「自宅やデイサービスで、ご自分がしたいこと、できるを見つけて出し、身体的機能と認知機能の維持・向上を図ります。また、少しだけ頑張っていただきを選びます。そのことが、生活の質の維持・向上につながると考えるからです。

おひとりの「利用者の心に潜んで、集団にならない方でも対応できます。また、これまでの生活習慣を変えないように、料理や掃除、社会参加プログラムもご用意しております。

20種類以上の選択プログラム

▼畑・園芸



▼料理



「なじみの作業記憶」を活用



▼薪割り・ご飯炊き



▼パン作り



支えられる側から 支える側へ

- できないことを“してあげる”のは、単なるお世話をできることに焦点を当てて、その人らしく暮らせるようにするのが介護
- できる限りの役割を負うことで、自分から動くことが少なくなります。そして、支えられることへの申し訳なさや自分の役割がなくなつた喪失感で、自尊心が削られてきます。そのため、回復のために、利用者ができるところで、地域社会とのつながりや、役割を取り戻すと想っています。

これまでの介護の課題

認知症や要介護になると、いろいろなことを制限され、やつてもう二ことが当たり前になってきます。“何かあっては困る”と活動するリスクは全て排除されてしまいます。これは、本当に望んだ姿なのでしょうか、ただ安全にいきるためだったら、部屋についてじっとしているしかありません。

- ①家や施設などの自分が所属している場所の役に立つ活動
- ②地域社会や人の役に立つ活動
- ③対価を得られる活動

ご利用に関するご相談はLINE
またはお電話でお問合せ下さい！
0228-24-8456

